

受験番号： \_\_\_\_\_ 解答例 \_\_\_\_\_

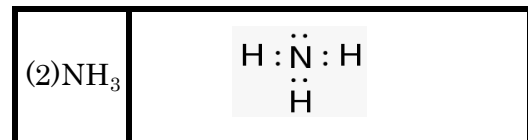
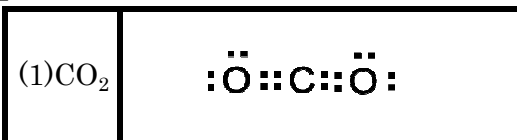
【問題 1】

問 1

原子が共有電子対を引き付ける能力を相対的に表した数値を電気陰性度という。両原子の電気陰性度の差が大きいほど、結合の極性は大きくなる。電気陰性度は、希ガスを除いて右上にある元素ほど大きくなる。(95字)

100字

問 2



問 3

電気陰性度の大小関係からF<sub>2</sub>は無極性分子、HClは極性分子となり、分子間力は極性が大きい分子間ほど強く働く。よって極性分子であるHClの方が分子間の結合力が強く、沸点が高いと考えられる。(94字)

100字

【問題 2】

問 1

ア	2	イ	2	ウ	8	エ	5	オ	4
カ	5	キ	2	ク	3	ケ	5	コ	2
サ	8								

問 2

過酸化水素	還元剤	過マンガン酸カリウム	酸化剤
-------	-----	------------	-----

問 3

計算式	$x \times \frac{20.0}{1000} \times 2 = 1.00 \times 10^{-2} \times \frac{16.0}{1000} \times 5$	濃度	$2.00 \times 10^{-2} \text{ mol/L}$
-----	---	----	-------------------------------------

※【問題 2】問 2 は「過酸化水素」「過マンガン酸カリウム」両方とも正解の場合に正答とする。

※何も記入しないこと

